

第2章

SDGs、Society 5.0 に関すること

第1節 SDGs に関すること

1 SDGs の認知度

SDGs の認知度を見ると「よく知っている」が3.3%、「少し知っている」が6.2%、「聞いたことがある」が12.9%、「知らない」が77.6%となっています(図表 2-1-1)。

図表 2-1-1 SDGs の認知度



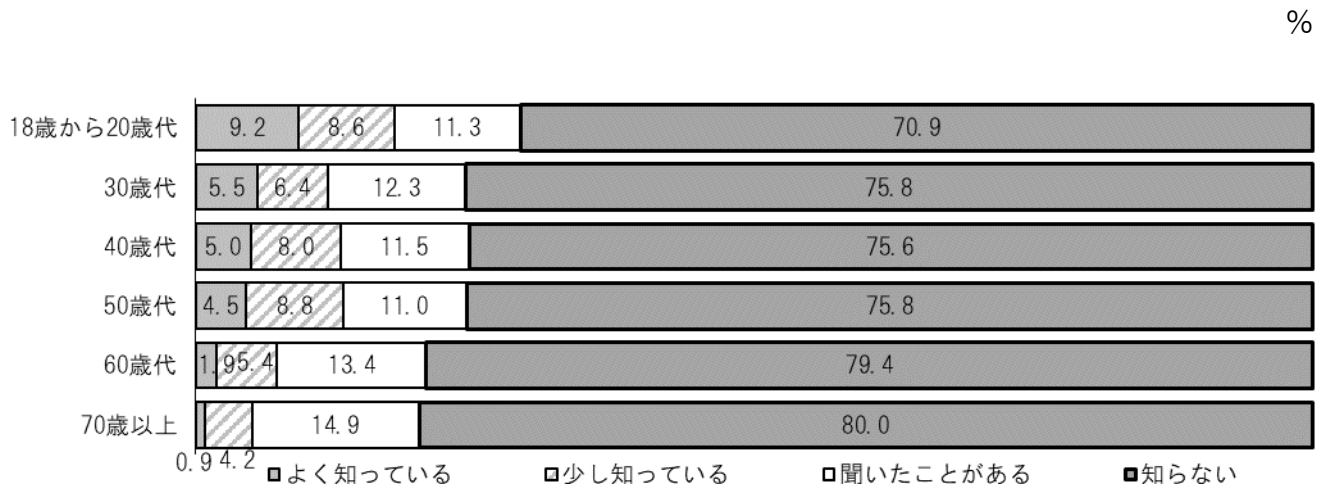
特色が表れた属性について以下で見していきます。

2 SDGs の属性別の認知度の状況

(1) 年齢×認知度

年齢別で見ると、18歳から20歳代で「よく知っている」(9.2%)が最も高くなっています。年齢が低いほど「よく知っている」が多い傾向があります(図表 2-1-2)。

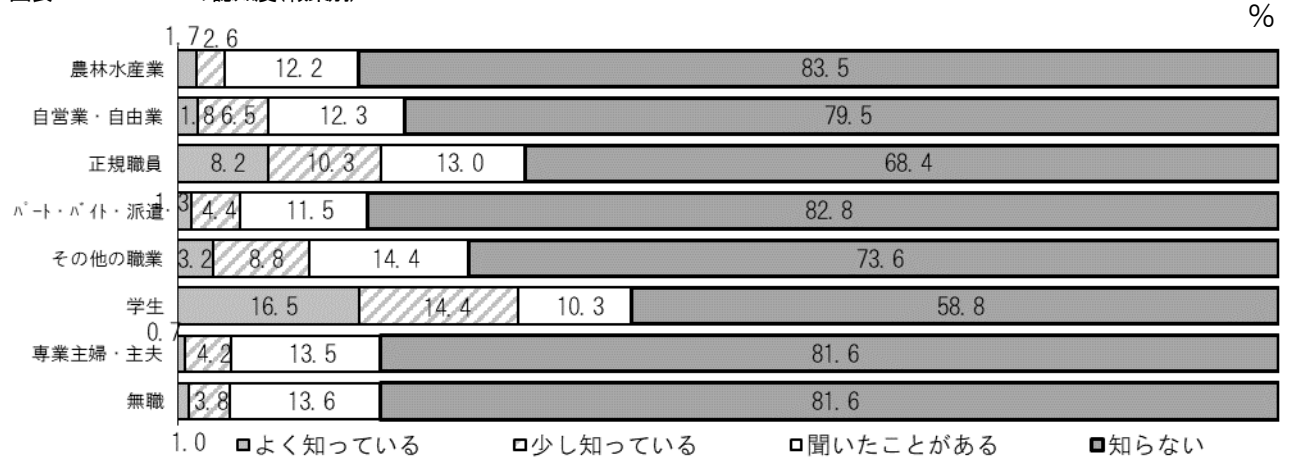
図表 2-1-2 SDGs の認知度 (年齢別)



(2) 職業×認知度

職業別で見ると、学生で「よく知っている」(16.5%)が最も高くなっており、次いで正規職員(8.2%)が高くなっています(図表 2-1-3)。

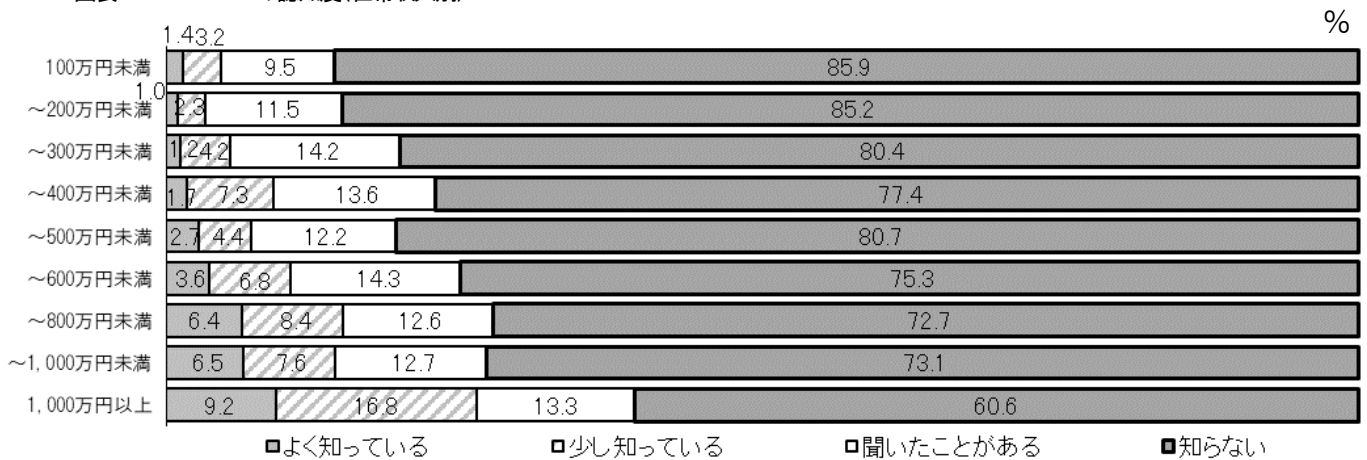
図表 2-1-3 SDGsの認知度(職業別)



(3) 世帯収入×認知度

世帯収入別で見ると、1,000万円以上で「よく知っている」(9.2%)が最も高くなっており、100万円未満を除き、収入が高い人ほど「よく知っている」が多い傾向があります(図表 2-1-4)。

図表 2-1-4 SDGsの認知度(世帯収入別)

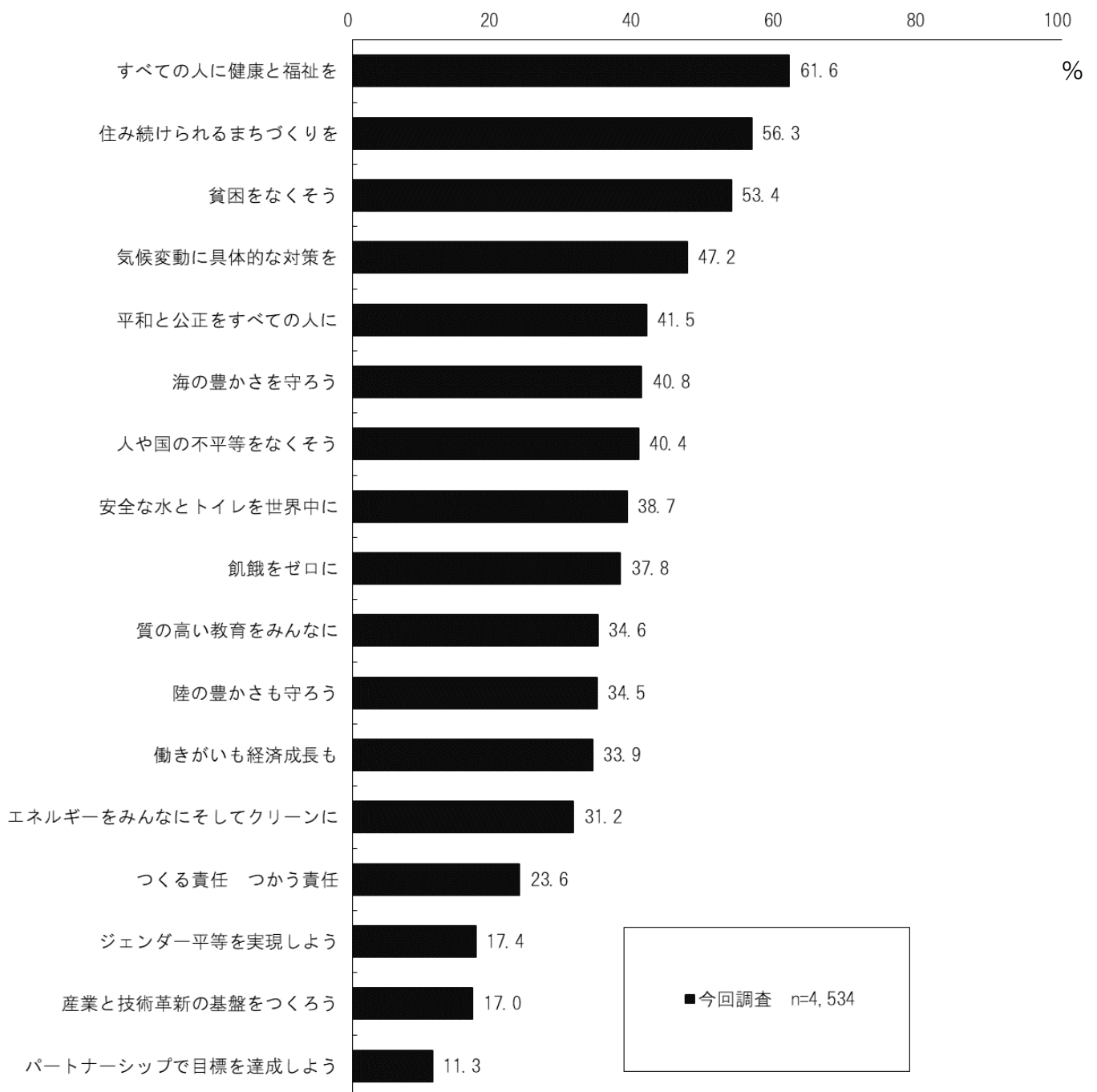


第2節 SDGs の効果を期待する目標

1 SDGs の効果を期待する目標

SDGs の目標のうち、どの目標の効果を期待するか質問したところ、「すべての人に健康と福祉を」(61.6%)が最も高く、次いで「住み続けられるまちづくりを」(56.3%)、「貧困をなくそう」(53.4%)の順となっています(図表 2-2-1)。

図表 2-2-1 SDGs の効果を期待する目標(複数回答)



2 SDGs の効果を期待する目標と幸福感の度合いの関係

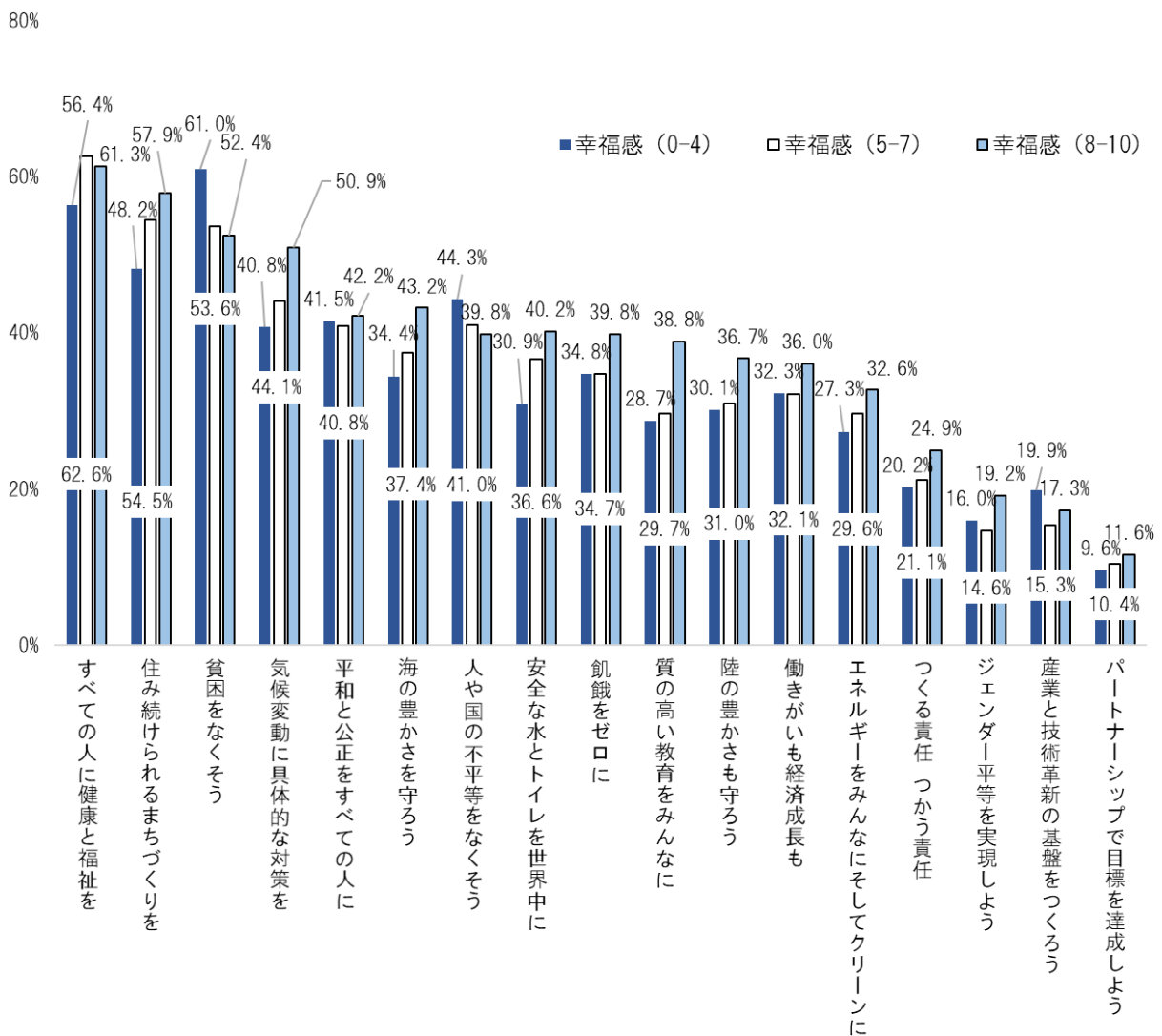
SDGsの効果を期待する目標について、幸福感「0～4点」、「5～7点」、「8～10点」のグループに分けて分析を行いました。

幸福感「0～4点」のグループでは、「貧困をなくそう」(61.0%)が最も高く、次いで「すべての人に健康と福祉を」(56.4%)、「住み続けられるまちづくりを」(48.2%)の順となっています。

幸福感「5～7点」のグループでは、「すべての人に健康と福祉を」(62.6%)が最も高く、次いで「住み続けられるまちづくりを」(54.5%)、「貧困をなくそう」(53.6%)の順となっています。

幸福感「8～10点」のグループでは、「すべての人に健康と福祉を」(61.3%)が最も高く、次いで「住み続けられるまちづくりを」(57.9%)、「貧困をなくそう」(52.4%)の順となっており、幸福感「5～7点」のグループと同じ順位でした(図表2-2-2)。

図表 2-2-2 SDGs の効果を期待する目標と幸福感

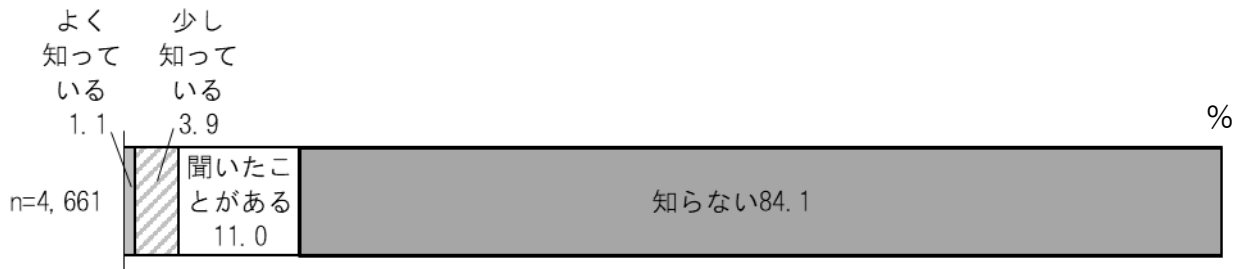


第3節 Society 5.0 に関すること

1 Society 5.0 の認知度

Society 5.0 の認知度を見ると「よく知っている」が1.1%、「少し知っている」が3.9%、「聞いたことがある」が11.0%、「知らない」が84.1%となっています(図表 2-3-1)。

図表 2-3-1 Society 5.0 の認知度



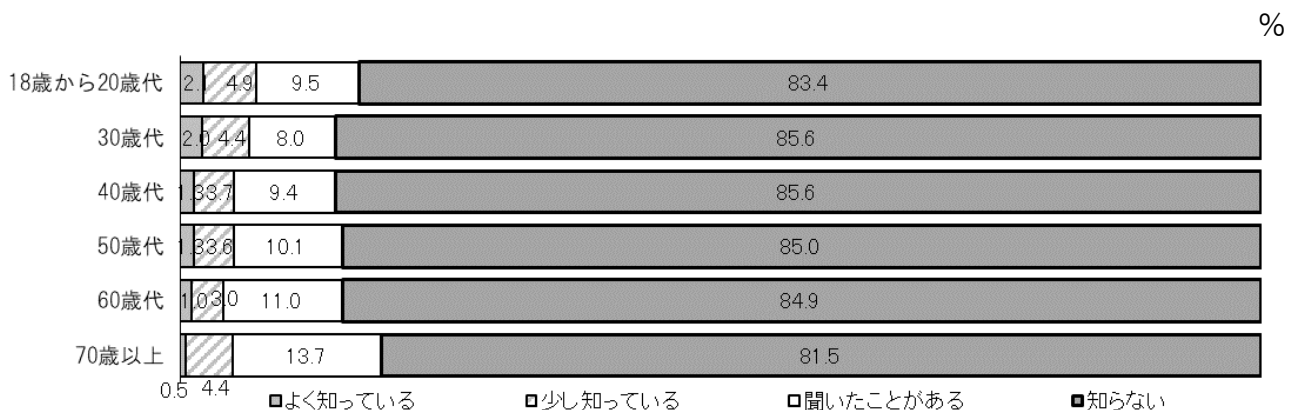
特色が表れた属性について以下で見えていきます。

2 Society 5.0 の属性別の認知度

(1) 年齢×認知度

年齢別で見ると、18歳から20歳代で「よく知っている」(2.1%)が最も高くなっています。年齢が低いほど「よく知っている」が多い傾向があります。一方で、70歳以上で「聞いたことがある」が最も高くなっています(図表 2-3-2)。

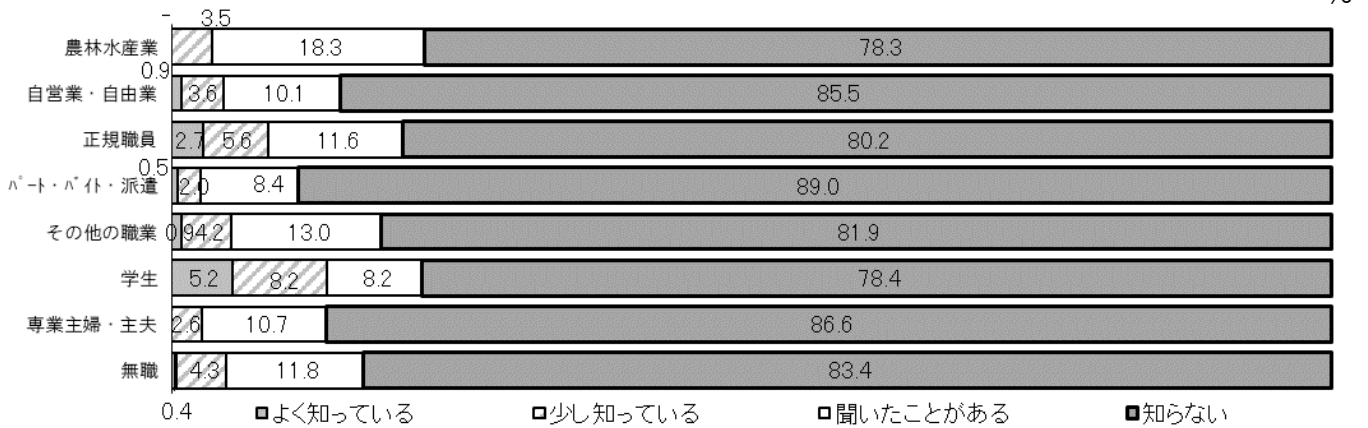
図表 2-3-2 Society 5.0 の認知度 (年齢別)



(2) 職業×認知度

職業別で見ると、学生で「よく知っている」(5.2%)が最も高くなっており、次いで正規職員(2.7%)が高くなっています(図表 2-3-3)。

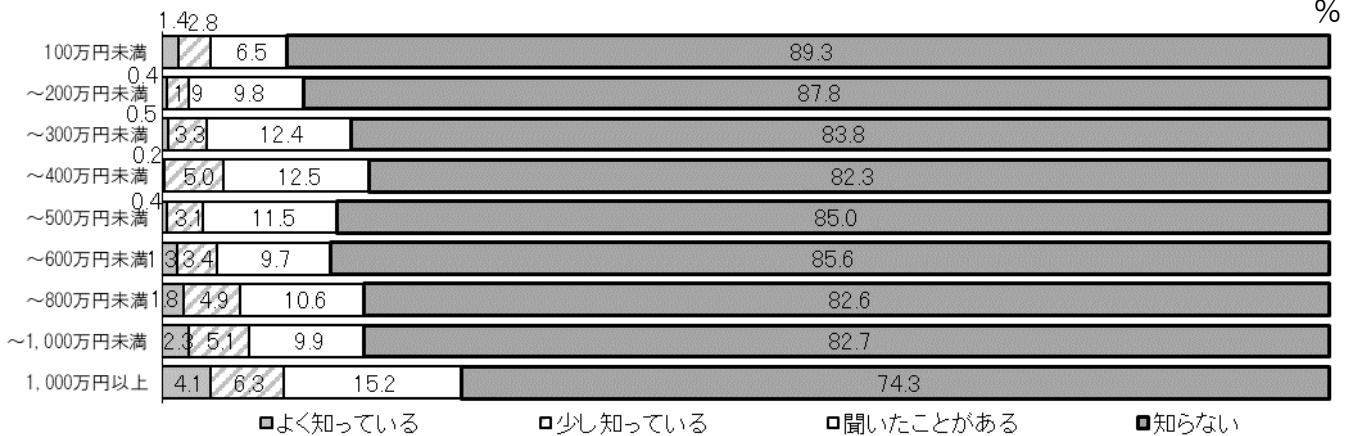
図表 2-3-3 Society 5.0 の認知度 (職業別)



(3) 世帯収入×認知度

世帯収入別で見ると、1,000万円以上で「よく知っている」(4.1%)が最も高くなっており、500万円以上で世帯収入が高い人ほど「よく知っている」が多い傾向があります(図表 2-3-4)。

図表 2-3-4 Society 5.0 の認知度(世帯収入別)

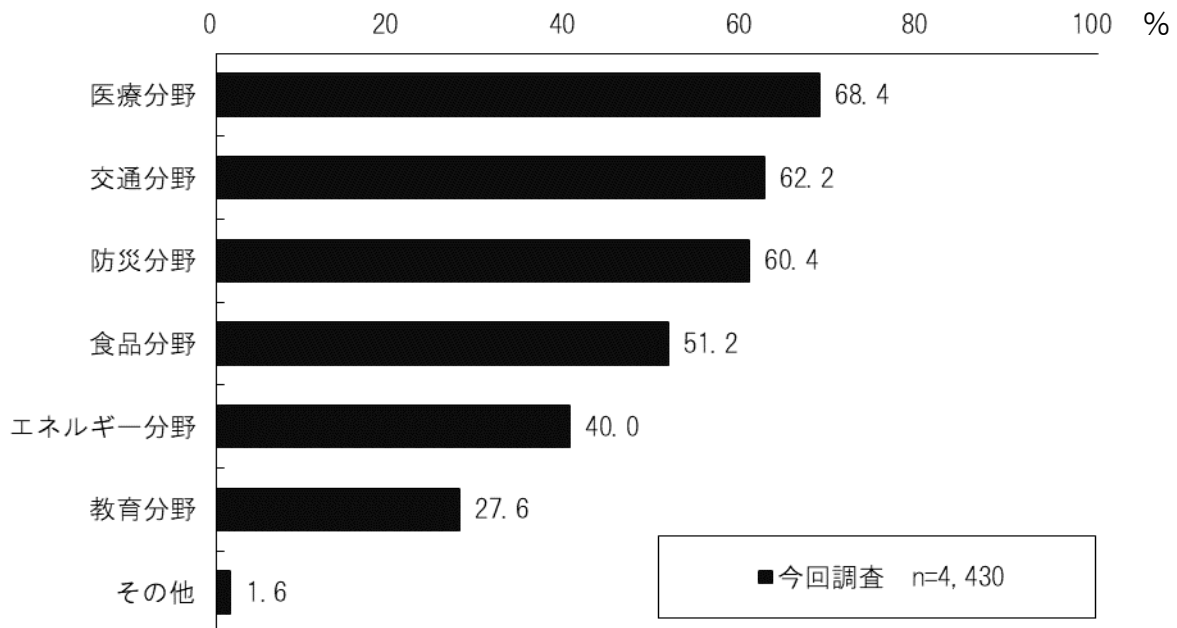


第4節 Society 5.0の実現を期待する分野

1 Society 5.0の実現を期待する分野

Society 5.0の実現を期待する分野について質問したところ、「医療分野」(68.4%)が最も高く、次いで「交通分野」(62.2%)、「防災分野」(60.4%)の順となっています(図表2-4-1)。

図表 2-4-1 Society 5.0の実現を期待する分野(複数回答)



2 Society 5.0の実現を期待する分野と幸福度の度合いの関係

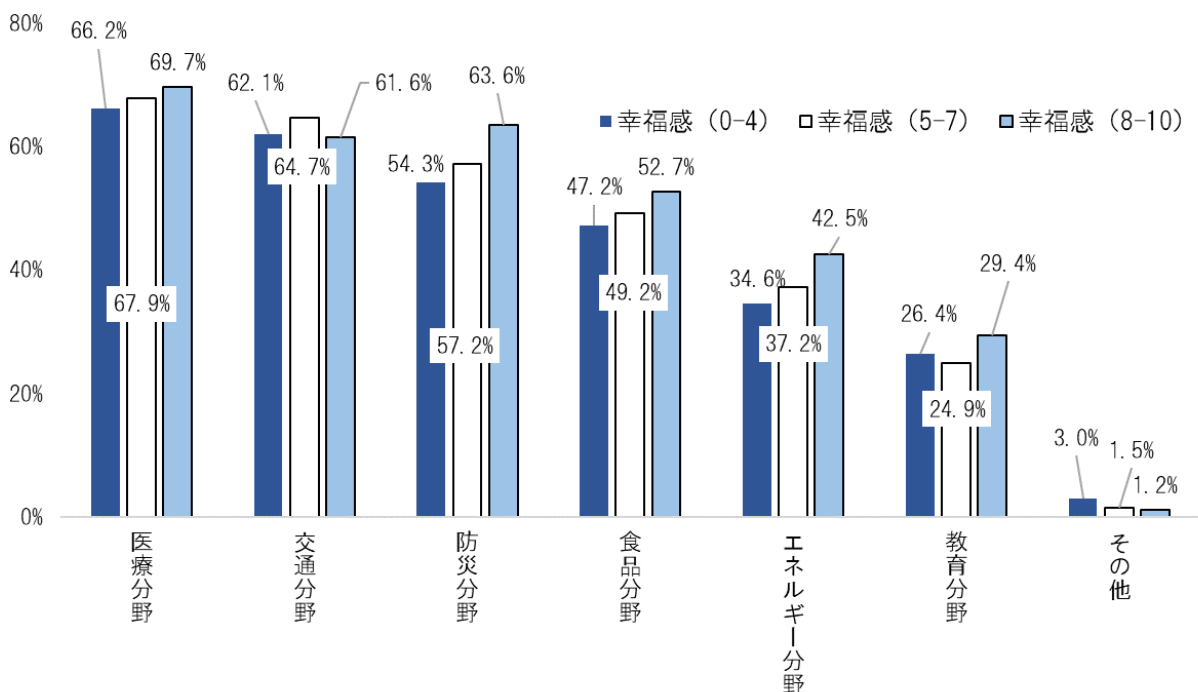
Society 5.0の実現を期待する分野について、幸福感「0～4点」、「5～7点」、「8～10点」のグループに分けて分析を行いました。

幸福感「0～4点」のグループでは、「医療分野」(66.2%)が最も高く、次いで「交通分野」(62.1%)、「防災分野」(54.3%)の順となっています。

幸福感「5～7点」のグループでは、「医療分野」(67.9%)が最も高く、次いで「交通分野」(64.7%)、「防災分野」(57.2%)の順となっており、「0～4点」のグループと同じでした。

幸福感「8～10点」のグループでは、「医療分野」(69.7%)が最も高く、次いで「防災分野」(63.6%)、「交通分野」(61.6%)の順となり、幸福感「0～4点」、「5～7点」のグループとは順位が異なるものの、上位3項目は同じでした(図表2-4-2)。

図表 2-4-2 Society 5.0の実現を期待する分野と幸福感



■SDGs や Society 5.0 の認知度や期待することから見える政策の示唆

SDGs や Society 5.0 の認知度を見ると、全体的に「知らない」という人が多く、特に若い人、学生、正規職員以外で低い傾向がみられました。

また、SDGs の効果を期待する目標については、「すべての人に健康と福祉を」が最も高く、Society 5.0 の実現を期待する分野については、医療分野が最も高くなりました。一方で、SDGs の効果を期待する目標について、「パートナーシップで目標を達成しよう」が低い結果となりました。

これらのことから、SDGs や Society 5.0 の認知度を高めるために、まずは、県民の皆さんに SDGs や Society 5.0 の考え方を理解していただく機会をつくり、その内容を理解してもらうことが必要です。

また、みえ県民力ビジョンでは、県民力による「協創」の三重づくりを基本理念の根幹に据えていることから、SDGs の浸透にあたっては、SDGs が「パートナーシップで目標を達成」することをめざすものであることをわかりやすく周知し、「協創」による社会的課題の解決をより一層推進していくことが重要と考えられます。

